

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年11月22日（水）

2 確認箇所

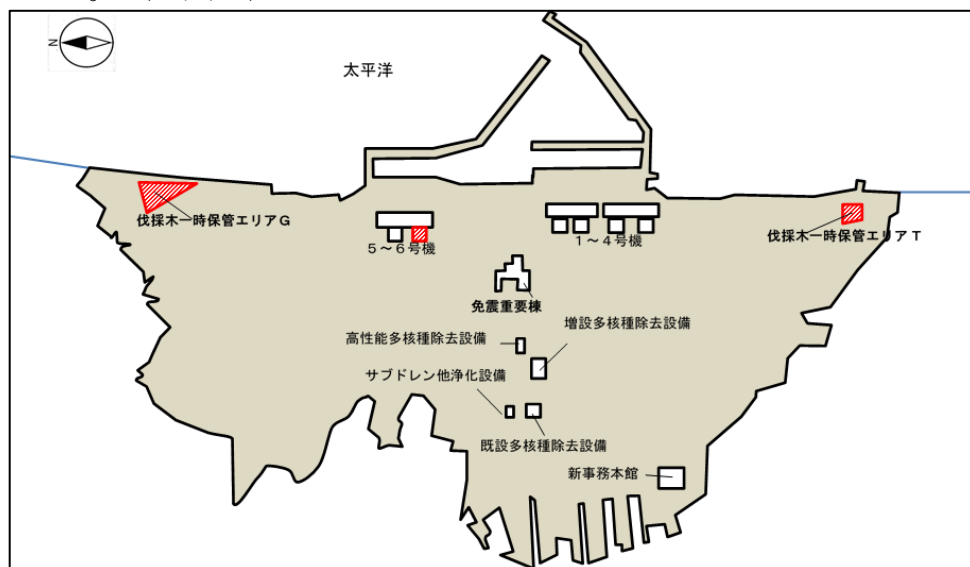
- (1) 5号機原子炉建屋
- (2) 伐採木一時保管槽（伐採木一時保管エリアG及びT）

3 確認項目

- (1) 5号機原子炉建屋排風機（A）からの油漏れの状況
- (2) 伐採木一時保管エリアG及びTの伐採木一時保管槽の状況

4 確認結果の概要

- (1) 5号機原子炉建屋排風機（A）からの油漏れの状況
東京電力から5号機原子炉建屋（以下「R/B」という。）排風機（A）から異音、異臭、油漏れがあったとの連絡があったため、現場での状況を確認した。（図1）
 - ・ 5号機R/B排風機（A）は、油漏れ等が確認された後、停止されており、排風機（B）が動作していた。なお、現地確認時に油漏れの対応作業は行われていなかった。（写真1）
 - ・ 5号機R/B排風機（A）の一部は養生されており、下部には受けパンが設置されていた。（写真2）
 - ・ 同様にR/B排風機（A）ファン軸受け部にも、受けパンが設置されていた。（写真3）



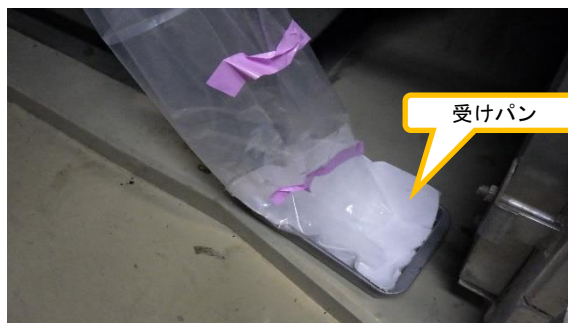
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
5号機R/B排風機 (A) の状況
(北東側から撮影)



(写真2-1)
5号機R/B排風機 (A) の養生状
況 (北西側から撮影)



(写真2-2)
5号機R/B排風機 (A) 下部に設
置された受けパン



(写真3)
5号機R/B排風機 (A) 軸受け下
部に設置された受けパン

(2) 伐採木一時保管エリアG及びTの伐採木一時保管槽の状況

一時保管エリアの解消に向けて、伐採木一時保管エリアG及びTに設置されている伐採木一時保管槽※ (以下「一時保管槽」という。) から保管されている枝葉チップを取出し、増設雑固体廃棄物焼却設備で焼却することが計画されており、取出し工法等の検討を行うため、試験的な取出しが予定されていることから、伐採木一時保管槽の現況を確認した。(図1)

(前回確認：[令和5年8月22日](#))

- ・伐採木一時保管エリアG及びTエリア内の一時保管槽の状況は、前回確認時と変化は認められなかった。
- ・伐採木一時保管エリアG及びTエリアの試験的な取り出しが予定されている一時保管槽はそれぞれ一槽であり、他の一時保管槽と変わりはなく試験的な取り出しに向けた準備工事は始まっていなかった。（写真4）

※伐採木一時保管槽：擁壁または築堤で保管槽を設け、伐採木のうちの枝葉を減容（チップ化）し保管槽に収納して、保護シート、覆土、遮水シートで覆うこと等により防火対策や線量低減対策を講じた一時保管槽であり、伐採木一時保管エリアG及びTに設置されている。



（写真4－1）

伐採木一時保管エリアGにおいて試験的な取り出しが予定されている一時保管槽の状況（南側から撮影）



（写真4－2）

伐採木一時保管エリアTにおいて試験的な取り出しが予定されている一時保管槽の状況（北側から撮影）

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。